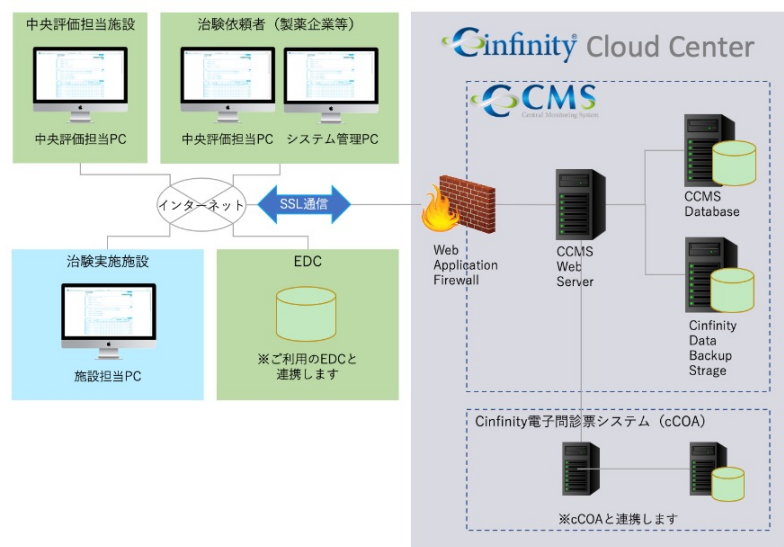




システム 基本構成



主な標準機能

中央評価担当者向け

- インフォメーション表示機能
- 新着評価コメント表示機能
- 全施設状況一覧表示機能
- 全症例状況一覧表示機能
- 施設毎状況詳細表示機能
- 施設毎全症例重ねグラフ表示機能
- 施設毎症例状況詳細表示機能
- 症例毎状況詳細表示機能
- 症例毎グラフ表示機能
- 注目症例設定機能
- 症例除外設定機能
- 観測値⇄変化値切り替え機能（グラフ共通）
- 推移方向/変化量アラート機能
- 評価コメント送受信機能
- 症例既読状況確認機能
- 使用状況レポートダウンロード機能

施設担当者向け

- インフォメーション表示機能
- 新着評価コメント表示機能
- 施設毎状況詳細表示機能
- 施設毎全症例重ねグラフ表示機能
- 施設毎症例状況詳細表示機能
- 症例毎状況詳細表示機能
- 症例毎グラフ表示機能
- 観測値⇄変化値切り替え機能（グラフ共通）
- 推移方向/変化量アラート機能
- 評価コメント送受信機能

システム管理者向け

- インフォメーション表示機能
- インフォメーション管理機能
- 症例管理（症例除外設定の解除）機能
- 施設管理機能
- 評価コメント管理機能
- アカウント管理機能
- ログ表示機能
- 評価コメントダウンロード機能
- 使用状況レポートダウンロード機能

動作環境

PC用 WEB画面

[サポートブラウザ]

- ・Microsoft Edge 最新版
- ・Google Chrome 最新版
- ・Safari最新版

※ご契約の際に、お客様がご利用になるバージョンを
確認させていただきます。

■このカタログの製品内容は、2022年11月現在のものです。予告なく仕様が変更されることがあります。

■価格に関しては、株式会社日本ブレン営業担当までお問い合わせください。

■Cinfinityは株式会社日本ブレンの登録商標です。

■その他、掲載の製品名は各社の商標または登録商標です。

<開発・発売元>
株式会社 日本ブレン
本社 〒170-6056 東京都豊島区東池袋丁目1番1号
サンシャイン60ビル 56階

お問い合わせ
医薬・サービス営業部 営業担当
e-Mail : medical-service@jbc.co.jp
TEL : 03-3984-7511 （代表）



日本ブレン

検索

カタログ番号：CCMS20250827

- ✓ 国内開発ならではの柔軟な対応
- ✓ 主要なEDCとの連携に対応



他のCinfinity製品との
連携も可能！



中枢神経領域の臨床試験における症例の有効性評価を支援



中枢神経領域臨床試験の健全化を支援する



Cinfintiy®中央評価システム-CCMS-は、中枢神経領域の臨床試験における、症例評価を支援するシステムです。患者の自己評価と医師評価の乖離から各種アラートを表示し、注視すべき症例の発見を促します。

大うつ病、双極性障害、統合失調症、アルツハイマーなど、自記式評価スケールと、面接式評価スケールを併用する臨床試験であれば、あらゆる 疾病に対応

ターゲットとなる疾病により、評価スケールが異なりますので、評価スケールは自由に選択いただくことができます

CCMSご利用イメージ

ご利用手順

データ収集時

患者作業

- cPROを用いた自記式問診データの登録

治験実施施設作業

- cCOAを用いた面接式問診データの登録
- EDCへの面接式問診データの登録

症例評価時

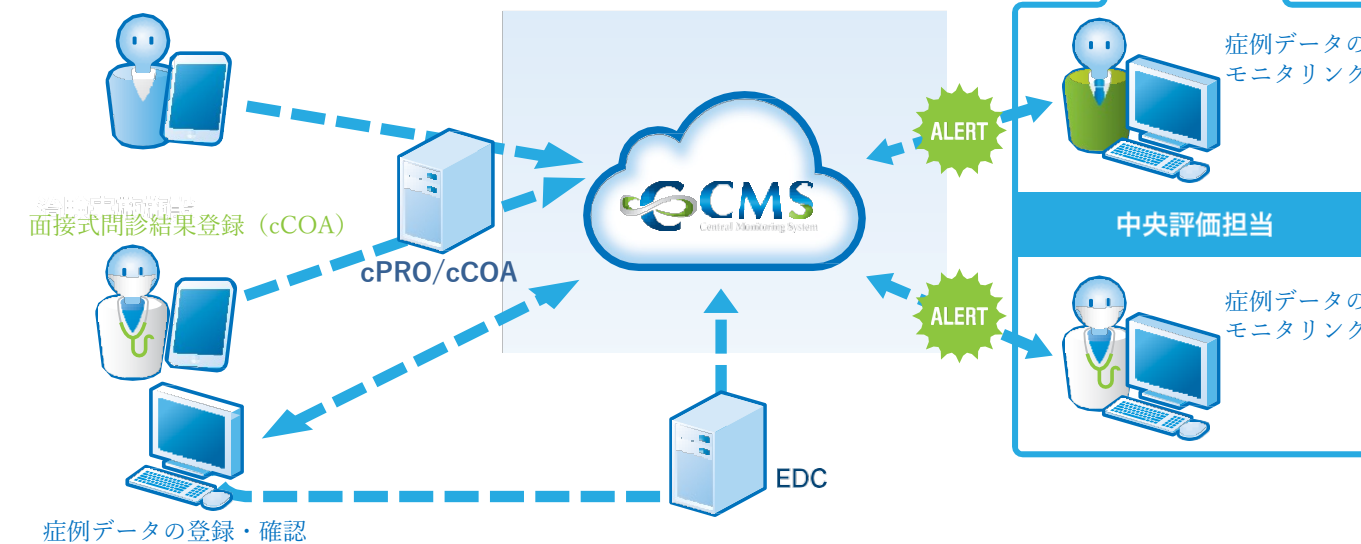
中央評価担当作業

- 症例データのモニタリング
- 要注意症例のアラート確認（システム自動表示）
- 評価コメントおよび表示の配信
- 不正症例・無効症例の除外

治験実施施設作業

- 症例データの確認

自記式問診（自己評価）登録（cPRO）



症例評価業務を強力に支援する機能群

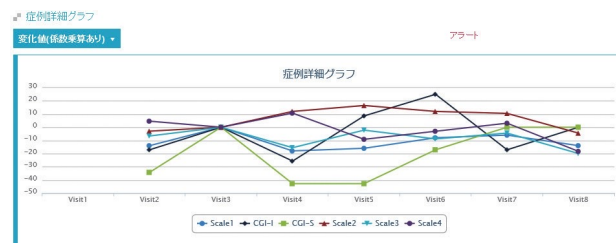
あらゆる数値を重ねて表示 一目瞭然
たった一つのグラフで症例の状態遷移が手に取るようにわかります。

国内開発ならではの柔軟な対応

完全な国内開発ですので、臨床試験ごとの細かな要件に、柔軟にカスタマイズ対応できます。製薬メーカー様の臨床試験に理想の環境を提供します。

モニタリング時におけるEDC+自記式重ねグラフ表示機能

当システムでは、別システムにて登録された患者本人が実施する自記式問診の結果ポイントや臨床心理士等が実施する面接式問診の結果ポイントと、EDCに登録された医師が登録する診察結果ポイントを、1つのグラフに重ねて表示します。自記式問診・面接式問診/診察結果ポイントは臨床試験ごとに採用される複数の問診票により決定される数値です。当システムが提供するグラフは、横軸にVisit数、縦軸に症例の自記式問診・面接式問診/診察結果ポイントを配した時系列折れ線グラフで、Visit数はEDC連携データより得られる患者の来院回数です。



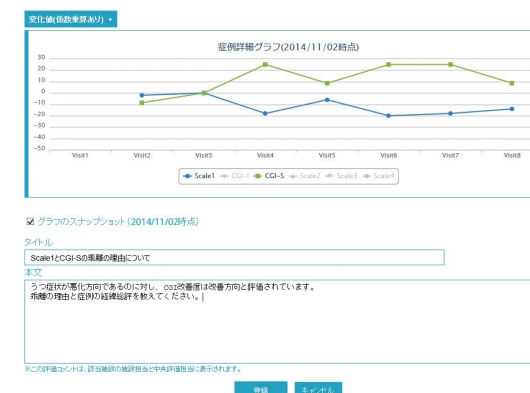
モニタリング時における全症例重ねグラフ表示機能

当システムでは、1施設内の全症例のラインを、問診票別に重ねて表示できます。また、グラフ表示の共通機能として、変化値または観測値の切り替え表示ができるようになっています。ターゲットとなる疾病により、問診票が異なりますので、問診票は自由に選択いただくことができます。

中央評価担当向けのアラート発報機能

当システムでは、前回のVisitの結果と今回のVisitの結果を比較し、その推移方向（傾き）が異なる場合に、その症例のそのVisitに対してアラートを表示します。アラートを表示する条件は、臨床試験の実施要件に基づき設定します。

症例ID	性別	年齢
0003-001	M	97
! 0003-003	M	60



中央評価と施設を繋ぐ評価コメント交換機能

当システムでは、症例の詳細画面を見ながら、評価コメントを登録することができます。また、評価コメント登録時のグラフのスナップショットを保存できるため、後日、見直す場合も同じグラフを見ることができます。評価コメントには閲覧者を設定することができます。評価コメントを新規に登録できるのは、中央評価担当のみです。（治験担当医師等は登録や閲覧はできません。）